

## 第3学年 国語科学習指導案

児童 男8名 女8名 計16名  
指導者 岩 淵 勇 樹

- 1 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書 三年下)
- 2 単元について

第3, 4学年の学習指導要領「C読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。本単元は「C読むこと」の内容「ウ 場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むこと。」「エ 読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくこと。」「カ 書かれている内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読むこと。」を指導することに適した単元である。「ちいちゃんのかげおくり」は、戦争によってひとりぼっちになっても家族に会いたいと願い続けたちいちゃんを通して家族の絆の強さを描いた物語である。主人公ちいちゃんの言動や各場面の様子に着目し、ちいちゃんの気持ちに十分共感させたい。また、心情を読み取ることを通して、家族の絆や平和の尊さという主題に迫りたい。主人公が幼い女の子であり、父や母、兄とのかかわりを中心に書かれていることから、この時期の児童にとって主人公に同化して読むことができ、平和を望む心情が養える教材であると考え。

児童はこれまで「きつつきの商売」で、場面の違いや情景をとらえて読むこと、「三年とうげ」では、話の展開や表現を楽しみ、面白かったこと等自分の考えをまとめ、それぞれの考えを交流することを学習してきた。これらの学習を通して児童は場面をとらえて自分の考えが持てるようになってきている。また、「一人学び」において「きつつきの商売」で教科書の大事な部分にサイドラインを引くこと、「三年とうげ」でサイドラインを引いたところをもとに主人公の行動の理由を自分なりに考える学習も行った。また、「学び合い」においては、児童が自分の考えや思いを聞き手に伝えたり、友だちの考えを聞いて自分の考えを述べたりできるように取り組んできた。しかし、友だちの考えをもとに自分の考えを発表できるのは一部の児童であり、互いの考えを伝え合うところまで至らない場合が多い。音読については、書かれていることが聞き手に良く伝わるように声に出して読む学習や、作品全体に流れるリズム・テンポのよさを味わいながら読む学習を行った。今後、聞き手に伝わるように会話文等の音読を工夫させたい。さらに、大事な言葉を十分理解し、内容を深く読み取っての音読を目指したい。

指導にあたっては、登場人物の会話や動作を表す言葉などをもとにして情景を想像しながら読み、自分が考えたり思い浮かべたりしたことを伝え、場面の様子がよく分かるように音読することを中心に指導していきたい。「見通す」段階では、全文を読み初発の感想を書いて交流し、学習課題を設定したい。「深める」段階では、叙述を基に場面の様子や主人公ちいちゃんの気持ちを想像しながら読ませたい。その際、一人学びでは、視写をしたり大事な部分にサイドラインを引いたりする活動を取り入れ、場面の情景や主人公の気持ちを自分の生活体験と比較し考えさせていきたい。さらに、「学び合い」ではその考えをもとにして友だちと考えを交流させ、自分の読みとの共通点や相違点に気づかせながら読み深めていきたい。そして「確かめる」段階では、役割読みなどで読みの場を工夫し、自分が音読したい場面を選ばせ、その箇所を選んだ理由や伝えたい様子なども発表させながらまとめの音読に取り組ませたい。

本時の学習では、焼け落ちた家の跡に戻ったちいちゃんが、母と兄の帰りを信じ、一人で数日間待ち続ける場面の気持ちを読み取らせる。「とらえる」段階では、前時で母と兄にはぐれてしまったことを振り返り、本時の学習課題を確認させたい。「ふかめる」段階では、はす向かいのおばちゃんと家の跡に行ったときのちいちゃんの気持ちをつかませたい。その際、「一人学び」としてちいちゃんの会話文にサイドラインを引かせ、ちいちゃんの気持ちを考えさせたい。「学び合い」では、自分の考えを発表し合いながら、ちいちゃんがどのように考えて焼け落ちた家の跡に残ったのか読み深めさせたい。「まとめる」段階では、学び合いや板書をもとにまとめた後、ちいちゃんがどのように考えたのか想像させながらまとめの音読をさせたい。

### 3 単元の目標

場面の様子やその移り変わりを想像しながら進んで読もうとする。(関心・意欲・態度)

「ちいちゃんのかげおくり」の場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読む。(読む)

その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。(言語工)

#### 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子やその移り変わりを想像しながら進んで読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会話や動作を表す言葉をもとにして、情景を想像しながら読むことができる。(ウ)</li> <li>場面の様子がよく分かるように声に出して読むことができる。(カ)</li> <li>心を打たれた場面の様子やちいちゃんの気持ちを考えて発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。(工)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。(工)</li> </ul>

### 4 指導計画(10時間)

過程	学習内容	主な学習活動	学習活動における評価規準
見通す (2)	全文を読み、学習のめあてをもつ。	全文を読んで、心に残った言葉や文から初発の感想を書き、学習課題を考える。	読 ア 心に残った言葉や文から感想を書くことができる。 A 心に残った言葉や文をもとにして自分の感想や詳しく読みたいところ等を書くことができる。 B 心に残った言葉や文をもとにして自分の感想を書くことができる。
		初発の感想をもとに学習課題を設定する。	読 ア 初発の感想をもとに、学習課題を作ることができる。 A 初発の感想をもとに、場面の様子や主人公の言動に着目しながら、自ら学習課題をつくることができる。 B 初発の感想をもとに話し合いに参加し、授業の中で学習課題を作ることができる。
深める (6)	それぞれの場面で、場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら読む。	家族みんなでやった「かげおくり」の様子を読み取る。	読 ウ 家族みんなでやった「かげおくり」の様子を読み取ることができる。 A 家族みんなでやった「かげおくり」の様子を読み取り、家族のそれぞれの気持ちの違いについて読み取ることができる。 B 家族みんなでやった「かげおくり」の様子を読み取ることができる。
		ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み取る。	読 ウ お母ちゃんやお兄ちゃんとはぐれ、ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。 A お母ちゃんやお兄ちゃんとはぐれ、ひとりぼっちになったときのちいちゃんの気持ちを他の人物との関わり等から読み取ることができる。 B お母ちゃんやお兄ちゃんとはぐれて、ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちが分かるところを読み取ることができる。

		お母ちゃんやお兄ちゃんを待っているちいちゃんの様子や気持ちを読み取る。 (本時)	読 ウ お母ちゃんやお兄ちゃんを待っているちいちゃんの様子や気持ちを読み取ることができる。 A 不安や恐れを抱きながらもお母ちゃんやお兄ちゃんが帰ってくると信じているちいちゃんの様子や気持ちを読み取ることができる。 B ちいちゃんが母や兄を待っていることを読み取ることができる。
		ちいちゃんの命が消えていくときの様子や気持ちを読み取る。	読 ウ ひとりでかげおくりをし、命が消えていくときのちいちゃんの様子や気持ちを読み取ることができる。 A ひとりでかげおくりをしたときのちいちゃんの衰弱した様子や気持ちを叙述から想像して読み取ることができる。 B ひとりでかげおくりをしたときのちいちゃんの様子や気持ちが分かるところを読み取ることができる。
		ちいちゃんが空色のお花畑で家族と会えたときの様子を読み取る。	読 ウ ちいちゃんが空色のお花畑で家族と会えたときの様子を読み取ることができる。 A ちいちゃんが空色のお花畑で家族と会えたときの様子を叙述から想像して読み取り、ちいちゃんの死をとらえることができる。 B ちいちゃんが空色のお花畑で家族と会えたときの様子を読み取ることができる。
		現在の公園の様子から、ちいちゃんの生きていたころとの違いを読み取る。	読 ウ 現在の平和な公園の様子を読み取ることができる。 A 現在の平和な公園の様子から、ちいちゃんの生きていたころと比べながら、違いについて叙述を基に読み取ることができる。 B 現在の平和な公園の様子を読み取ることができる。
確かめる (2)	学習を振り返り、一番心に残った場面を選んで音読で伝え合う。	心に残った言葉や文から読みたい場面を選び、音読の練習をする。	読 工 一番心に残った言葉や文を書き出し、読みたい場面を選ぶことができる。 A 一番心に残った言葉や文を書き出し、自ら読みたい場面を選ぶことができる。 B 一番心に残った言葉や文を書き出し、授業の中で読みたい場面を選ぶことができる。
		心に残った言葉や文の音読発表会をする。	読 力 一番心に残った言葉や文を、様子を想像して読むことができる。 A 会話の前後の言葉に注目し、一番心に残った言葉や文を、様子を想像して読むことができる。 B 一番心に残った言葉や文を、様子を想像して読むことができる。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

母と兄の帰りを信じて待つちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。

(2) 展開

過程	学習活動 主発問	学習活動に対する支援等 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     具体の評価規準                 </div>
とらえる  (5)	1 前時の学習を想起する。  2 学習課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         ちいちゃんはどんな気持ちで深くうなずいたのだろう。                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母や兄とはぐれ、会いたいと思いながらひとりぼっちで眠ったことを振り返らせる。</li> </ul>
ふかめる  (25)	3 学習場面を音読する。 学習場面 (P11, L6 ~ P13, L7) を音読し, 学習の見通しを持つ。 ・ 指名読み  4 課題解決をする。 場面の様子やちいちゃんの気持ちを読み取る。 ・ 学習場面からちいちゃんの会話文を見つけてサイドラインを引き, そこから分かるところを書き込む。(一人学び)  書き込んだことを発表し合い, 場面の様子やちいちゃんの気持ちについて、自分の考えと友だちの考えを比べて聞きながら話し合う。(学び合い)  本当にお母ちゃんたちが帰ってくるのか分からないのに、深くうなずいたのはどうしてでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指名読みで, 学習場面を確認し, ちいちゃんの会話文や行動に着目するように聞かせる。</li> <li>・ 机間指導をし, 考えを把握する。</li> <li>・ ちいちゃんの会話文を手がかりとして、気持ちや様子などを考えさせる。</li> <li>・ 机間指導をした結果から, 意図的に指名していき, 学び合いを構成する。</li> <li>・ ちいちゃんの会話文や行動をもとに、場面の様子や情景を考えさせる。</li> <li>・ 町やちいちゃんの家がどうなったかをつかませる。</li> <li>・ 母や兄の帰りを信じていることをつかませる。</li> <li>・ ちいちゃんが家族に会いたい, という強く願っていることや, きっと帰ってくると信じている気持ちをつかませる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">具体の評価規準</p> <p>お母ちゃんやお兄ちゃんを待っているちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。</p> <p>A 不安や恐れを抱きながらもちいちゃんが母や兄の帰りを強く信じてひとりぼっちで待とうとしたことを読み取ることができる。</p> <p>B ちいちゃんが母や兄を待っていることを読み取ることができる。</p> <p>(手立て)</p> <p>ちいちゃんがどんな気持ちか分かる言葉を板書から見つけさせ、まとめへの手がかりにさせる。</p> </div>

<p>まとめ める  (15)</p>	<p>5 本時のまとめをする。 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ちいちゃんがどんな気持ちで深くうなずいたのか、まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び合いや板書を手がかりにして、本時のまとめをさせる。</li> <li>自分でまとめを書かせた後、発表して交流し合う。</li> </ul>
<p>ちいちゃんは、お母ちゃんやお兄ちゃんが帰ってくると信じて待とうと思 い、深くうなずいた。</p>		
<p>まとめの音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容を振り返り、音読する。</li> <li>指名読み</li> </ul> <p>6 次時の学習内容を知る。 次時の予告をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ちいちゃんの、家族に会いたいという気持ちが表れるように音読させる。</li> <li>次時はひとりでかげおくりをし、ちいちゃんの命が消えていく場面を学習することを告げる。</li> </ul>

(3) 評価

母と兄の帰りを信じて待つちいちゃんの内情を読み取ることができたか。

(4) 板書計画

<p>ちいちゃんのかげおくり</p>	<p>かちいちゃんはどんな気持ちで深くうなずいたのだろう。</p>
<p>「おうちのじい。」</p>	<p>お母さんとはぐれ なくのをいじらえて きつとおうちに帰っている</p>
<p>「ここがお兄ちゃんとわたしの部屋。」</p>	<p>家からはなれた ほろぼろ やけおちてなく なっている。</p>
<p>わたしのおうちほい お兄ちゃんどこで遊んだよ</p>	<p>ちいちゃんは、深くうなずきました。 お母ちゃんお兄ちゃんは帰ってくるよ。 待っていれば会えるよ</p>
<p>ちいちゃんは、また深くうなずきました。 ひとりはさびしいけど、きつとお母ちゃんたちが来てくれる。 ここで待っていれば、かならず会えるはず。</p>	<p>「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きつと帰ってくるよ。」 お母ちゃん、お兄ちゃんに会いたい。 ここで待っていればきつと会えるよ。</p>
<p>まちいちゃんは、お母ちゃんやお兄ちゃんが帰ってくると信じて待とうと思、深くうなずいた。</p>	